広田っ子

～本物の笑顔が輝く広田小～

佐世保市立広田小学校　学校だより
第４号　令和４年７月２１日（木）
文責　井上　文典

「**本物の笑顔**」に簡単アクセス
広田小HP　QRコード

さあ！いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みです。この夏もコロナは心配ですが、マスクの下はいつも笑顔が輝いている広田っ子！１学期にしっかりがんばった８８４人です。夏休みはルールを守り、規則正しい生活をしながら、学校で学んだことをしっかり振り返り、学びを生かす「夏」にしてほしいと思います。

自分の学びを振り返るときに大切にしたいキーワード…「のに」を「ので」へ

人の思考は、ちょっとした言葉や文字でも変容するのではないかと思っています。その一つが「のに」と「ので」です。そう考えさせられたのが「『のに』がつくと愚痴がでる」と表現した、いのちの詩人といわれる相田みつをさんの詩です。（生活の中では「がんばったのに…」と、ついつい「のに」と言ってしまいますね）

勉強も運動も「がんばったのに・・・」と努力が報われなかったことだけに焦点をあてて終わっていては進歩、向上はありません。失敗したとき、上手くいかなかっときこそ「あと少し〇〇の工夫が足りなかったので」「あと少し〇〇の練習が足りなかったので」と「**ので**」で根拠を明確にすることが工夫や努力することのポイントとなり、子どもたちの意識が変わることにつながっていると考えています。

学習指導要領では、すべての教科において「**見方・考え方をはたらかせ**」と記されています。これは、これから予測が難しい時代を生きる子どもたちにとって、人生を切り拓いていく重要なキーワードだと考えています。そして、普段の学習や生活のなかでは「のに」ではなく「ので」で考えていく思考の習慣が大切なのではないかと思います。

今年も『夏休みの友』は、以前とは異なり、情報提供が柱になっています。また、タブレットも持ち帰ります。自分が伸びていくための課題が何なのか、子ども自身が学びの当事者として意識することが求められています。ぜひ、これまでの学習の振り返りを家庭でもしっかりおこなってください。そして、最優先の課題について「夏休みは、まず〇〇をする」「必ず〇〇はやり遂げる」という具体的なめあてをもって学習に臨んでほしいと思います。

ひとこと

本物の笑顔のために（その３）

夏休みは家庭で実践！

家庭における礼儀やマナーの実践や、家のお手伝いは、繰り返し丁寧に行うことで実践力が向上します。

挨拶やはきものそろえは学校だけの学習ではありません。また、相手意識に立ち、次に使う人のことや次に使う時のことを考えながら行う**丁寧な掃除や片付けはとても大切な実践教育です。**

明治以前、日本に学校の制度が無かったころは、教育の中心は家であり、家庭における礼節やマナーの学びや家の仕事が大切な実践教育でした。また、「片付け」は「型づけ」とも言われます。日々の丁寧な実践が、一生使える「型」となり、自立して生活していくための土台となります。

夏休みは、生活する力を身に着けるための大変有益な時間です。ぜひご家庭でも「実践」をお願いします。

＊登校日は８月９日（火）です。２学期の始業式は８月２９日（月）です。

児童会で広田小のキャッチフレーズをつくりました！

「あたたかい　笑顔あふれる　おもいやり」

とてもすてきな言葉です。
これから、いろんな活動の中で生きて働く言葉になると思います。
子どもたちも、主体的に「本物の笑顔」をめざします。
まずは、「のぼり」をつくります。お楽しみに！

学校評議員会を７月７日（木）に実施しました

本年度もコロナ禍を考慮し、学校支援会議を中止し、学校評議員会を実施しました。
学校と地域が共に、教育を考えるという視点で協議をしました。レジュメの一部を紹介します。

「どうせ・・・」とつぶやかない子どもを育てたい

１　はじめに
　コロナ禍、そして、予測困難な時代。広田小は、一人一人の「本物の笑顔」をめざし、全職員で、工夫しながら教育活動を進めている。

２　「本物の笑顔」は日々の小さな実践「はきものそろえ」の徹底から（学校経営指針説明）
（１）小学校という発達段階で身に着けさせたい汎用的な力

人間関係形成　社会参画　自己実現

（２）学校経営方針と学年経営ビジョン
各学年、ビジョンをもって教育活動を進めている。＊校長室前廊下に掲示

３　学級の力を土台とした学校づくり（取組紹介）
（１）はきものそろえからはじめる凡事徹底（全校共通実践）
○小さな実践「はきものそろえ」の思考、習慣から確実な変容（本物へ）そして、大きな成果へ
（２）子どもが「願い」をもち、自分らしく表現し、具現化する教育活動を広げていく。

４　情報、意見交換
（１）徒歩登校
①体力の向上　②「備え」の力
（２）地域における礼儀とマナー
①あいさつの現状　②大人の手本　③その他

５　終わりに
　本校は「学級の力」を土台として教育活動を進めている。そして、この教育活動は「なすことによって学ぶ」という理念を柱としている。失敗の経験は子どもたちの宝物。経験が本物の笑顔につながっている。地域、家庭でも、この「失敗」もふくめて見守っていただきたい。

上記の概要で、学校評議員会を行いました。
学校評議員の皆様、ご多用の中、ご参加いただき誠にありがとうございました。